2022 年 5 月 2 2 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

祝頌献会 5 後 衆 報 月 告 替 22 祷栄金美 教 日 感 聖 御聖ゎしゎイ 聖 Ξ 使 詩 聖 謝 歌 歌 霊 徒 手歌たはたザ ハ 篇 百礼拝 祈 3 ネ 1しあしヤ 2 6 O O 祷 7 0 臨 0 働 5 中5のなが書 0 もたあ43 篇 8 福 在 で 16 ع うの。 (1 c) なた 音 1 1 (1~4節 力章書章 (1 \mathbf{H} を贖り 1 5 アー 7 3 5 中 $\overset{'}{3}$ 2 5 筋 (英牧 んだ。 節 メン 11 15 師 餰 飾

■聖歌150「わが目を開きて」

- ①わが目を開きて さやに見せたまえ 今まで知らざりし みふみのまことを
- ※われ今しずかに わが主を待つなり 主よ与えたまえ さとりを
- ②にぶき耳なれど 声をかけたまえ ただ主の みことばに 従いまつらなん
- ③主よわがくちびる ときてうたわしめ たえなるみ恵みを 伝えしめたまえ

■御手の中で

- ①御手の中で すべては変わる賛美に わがゆく道を 導きたまえ あなたの御手の中で
- ②御手の中で すべては変わる感謝に わがゆく道に あらわしたまえ あなたの御手のわざを

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの自用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇25篇1~5節

- 1 主よ あなたを わがたましいは仰ぎ求めます。
- 2 わが神 あなたに 私は信頼いたします。 どうか私が恥を見ないように 敵が私に勝ち誇らないようにしてください。
- 3 まことに あなたを待ち望む者がだれも恥を見ず ゆえなく裏切る者が 恥を見ますように。
- 4 主よ あなたの道を私に知らせ あなたの進む道を私に教えてください。
- 5 あなたの真理に私を導き 教えてください。 あなたこそ 私の救いの神 私は あなたを一日中待ち望みます。
- ■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 使徒の働き 1 章 3 ~11 節、ヨハネの福音書 16 章 7 節 ~15 節 【使徒の働き 1 章 3 ~11 節】

- 3 イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が 生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、 神の国のことを語られた。
- 4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサ レムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖 霊によるバプテスマを授けられるからです。」

- 6 そこで使徒たちは、一緒に集まったとき、イエスに尋ねた。「主よ。イ スラエルのために国を再興してくださるのは、この時なのですか。」
- 7 イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あな たがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をも って定めておられることです。
- 8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。|
- 9 こう言ってから、イエスは使徒たちが見ている間に上げられた。そして雲がイエスを包み、彼らの目には見えなくなった。
- 10 イエスが上って行かれるとき、使徒たちは天を見つめていた。すると 見よ、白い衣を着た二人の人が、彼らのそばに立っていた。
- 11 そしてこう言った。「ガリラヤの人たち、どうして天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行くのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになります。」

【ヨハネの福音書16章7~15節】

- 7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。
- 8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかになさいます。
- 9 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。
- 10 義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。
- 11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。
- 12 あなたがたに話すことはまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐えられません。
- 13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべて の真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞い たことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくだ さいます。
- 14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。
- 15 父が持っておられるものはすべて、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに伝えると言ったのです。

■聖歌608「恵み深き御霊よ」

- ①恵み深き御神よ 昔ありしごとく われら一人びとりを 今日も満たしたまえ
- ★主よ あまつ御霊を 今日も くだしたまえ ここに あまつ炎を 今日も燃やしたまえ
- ②罪と欲はさながら 火にて焼くるごとく 焼きて またく滅ぼし 今日もきよめたまえ
- ③にえとなりて救いの 道を開きませる 救い主を さやかに 今日も示したまえ
- ④君の深き恵みを 語りつぐるために 神によれる自由を 今日も与えたまえ
- ■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず 御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

・招詞 招詞を読みます

・賛美 歌います

・主の祈り・交読主の祈りを祈ります交読箇所を読みます

・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう

「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」

・使徒信条 使徒信条を告白します

・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます

・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう

・賛美 歌います

・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち 合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげな がら歩めるように主の助けを祈りましょう。

・頌栄 頌栄をささげます

・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう 「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにあ りますように アーメン